

建設物価 建設資材物価指数[®] 2026年5月分 【速報】

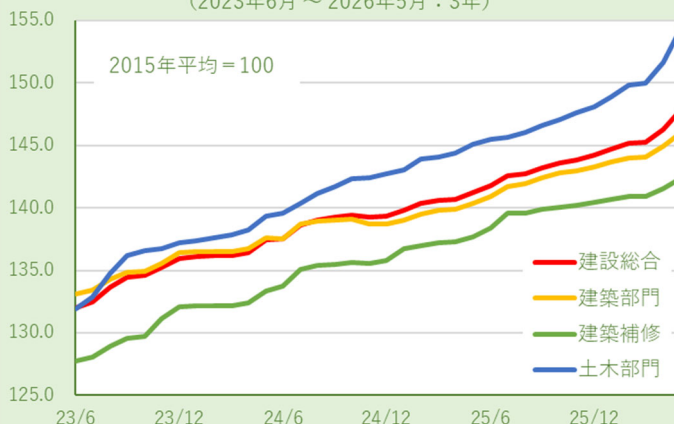
建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

2026年5月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**147.8**となり、前月比+1.0%(+1.5ポイント)と**18カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+4.6%(+6.5ポイント)となった。部門別では、**建築部門**が**145.9**となり、前月比+0.7%(+1.0ポイント)と**18カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+4.0%(+5.6ポイント)となった。**建築補修**は**142.4**となり、前月比+0.6%(+0.8ポイント)と**18カ月連続の上昇**となった。前年同月比では+3.4%(+4.7ポイント)となった。**土木部門**は**154.3**となり、前月比+1.8%(+2.7ポイント)と**2020年6月以降72カ月連続の上昇**となり、最高値を更新した。前年同月比では+6.3%(+9.2ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2023年6月～2026年5月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【石油製品・舗装材料】 舗装材料

原材料費の高騰を受け、製品価格の値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

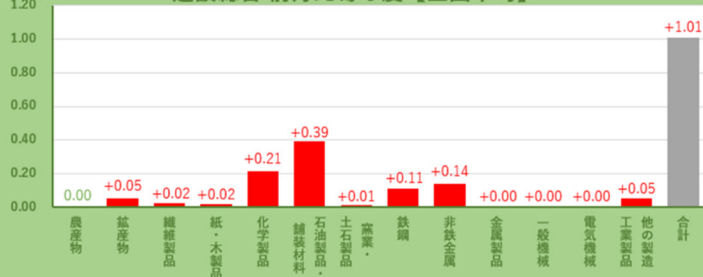
【化学製品】 シンナー

中東情勢の緊迫化の影響もあり、メーカーおよび流通の値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

なし

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】

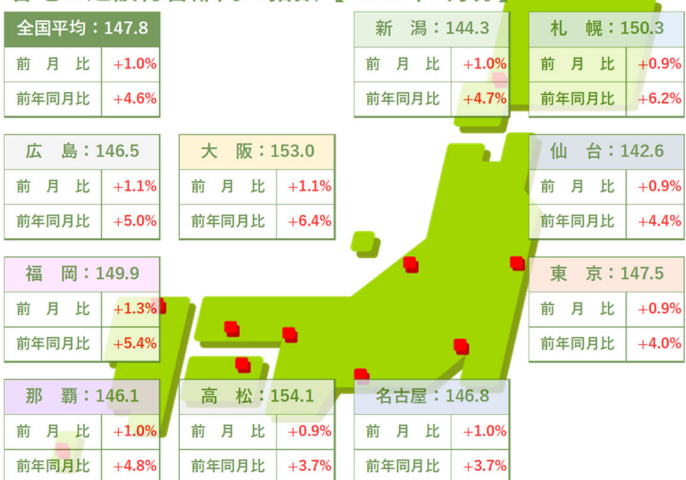


3. 都市別の動向（建設総合部門）

今月は、都市別に顕著な傾向がみられず、全国的に同様の指数動向となった。そうしたなか、**【福岡】**（前月比+1.3%）や**【広島】**（前月比+1.1%）、**【大阪】**（前月比+1.1%）では、上記の舗装材料やシンナーの値上げの他に、原材料費や電力料金、人件費といった製造コストの増加を背景とした異形棒鋼の大幅な値上げや、世界的な銅相場の続伸による電線価格の上伸などが指数動向のプラスに大きく寄与した。

一方で、中東情勢の緊迫化を背景に、世界的に原油価格が乱高下しており、国内では補助金の支給や国家備蓄の放出などによって燃料油の価格が下落したが、他の石油製品が値上がりしたことで、指数動向へのマイナス寄与は打ち消される形となった。

各地の建設総合部門の指数【2026年5月分】



【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp